

【別紙】試合運営規程

1. 西日本生涯還暦野球大会の試合運営を円滑に行うために本規定を定める
2. 試合は2026年度公認野球規則及び本規定により運営される。
3. 登録できる選手は、**昭和42年4月1日までに生まれた者**とする。
4. 試合は各会場4チームによる**リーグ戦方式**とし、全チームが2日間で3試合を行い、下記の勝敗ポイントにより順位を決定する。
勝ち…3点 引分け…1点 負け…0点
勝敗ポイントが並んだ場合は、出場選手9人による抽選で順位を決定する。
5. 全試合**7イニング**とし、同点の場合は、引き分けとする。
6. 試合時間は**90分**とし、**時間を過ぎて新しいイニングには入らない**。また、雨天及び運営の関係で試合時間の短縮するときは審判の指示に従うこと。
(例1) 6回表の途中で90分を過ぎた場合
①先攻チームが負けている場合 → 表の回終了まで行う。
②先攻チームが勝っている場合 → 裏の回終了まで行き、新しいイニングには入らない。
(例2) 6回裏の途中で90分を過ぎた場合
①先攻チームが負けている場合 → 90分を過ぎた時点で試合終了。
②先攻チームが勝っている場合 → 裏の回終了まで行き、新しいイニングには入らない。
7. 試合のルール
①出場メンバーは、**攻撃は13人まで、守備は9人**とし、一旦出場選手メンバーから退いた選手は再度出場できない。
②**投手は4イニングで交代しなければならない**。2イニングで降板しても、4イニングとし**再登板は認めない**。
8. 塁間、バッテリー間については、次の通りとする。
塁間 25m 投手距離 16.3m
使用球は公認球M号とする。
本大会は特別ルールとして、一塁にダブルベースを使用する。
9. 打者、走者のヘルメット及び捕手のプロテクター・レガースは、けが防止のために着用すること。
10. 怪我防止のため、金属スパイクは禁止とする。
11. **EDH(特別指名打者)の使用を認める**。
①EDHの打順は、1番から13番までの間で自由に選ぶことができる攻撃のみの選手。
②EDHの選手に代打、代走を送ることができる。
③EDHの選手も途中から守備につくことができる。
④EDHの選手が守備についている選手と交代し守備についた場合は、守備についていた選手は攻撃のみのEDHになるか、控えの選手がEDHとして出場する。ただし打順は変らない。
⑤試合開始前にEDHの採用をするか、採用しないかを申請すること。EDHを申請したチームは試合終了までEDHを採用しなければならない。試合途中からのEDHは採用できない。
12. ベンチは若い番号のチームを一塁側とする。ただし、連続試合の場合にはベンチを移動せずに、対戦相手が空きベンチを使用することも可とする。
13. 試合開始前のシートノックは行わない。
14. 試合進行等に関する**異議申し立ては、監督のみが行えるものとする**。
15. 審判員等の大会関係者に対して、暴言等の不当行為があった場合は没収試合とし、当該チームの次年度以降の大会参加は認めない。